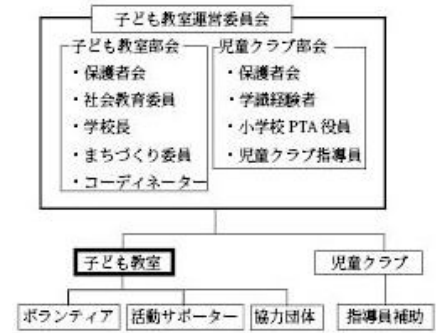


「心豊かでたくましい小布施の未来を拓く子どもたち」を地域一丸で育てる！！

長野県小布施町	● 活動名	● 関係する学校名
	小布施町「子ども教室」	小布施町立栗ガ丘小学校

開始年度	平成 16 年度	学級数	21 学級	生徒数	618 人
放課後児童クラブとの連携					
一体型	● 連携型	(連携状況) □毎回 □定期的に ■イベントがある時 ■活動場所を共有 (共有の活動場所)	連携なし	子供の参加人数	78 人
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	実施場所	施設名：小学校、公民館、畑、田んぼ 実施場所：体育館、グラウンド、余裕教室、家庭科室、学習室
ボランティアの数	登録人数 32 人	属性	中高生、大学生、地域住民	学習活動の有無	無
参考 URL	http://d.hatena.ne.jp/obusekodomokyoushitsu				

● 体制図



● 連絡先 小布施町教育委員会 ☎ 026-214-9110

● 活動の概要・経緯

平成 16 年開設。子ども教室の活動は、「心豊かでたくましい子ども達」を育むため、仲間づくり・根っこづくり・地域づくりを柱として行っている。

- 仲間づくり…仲間と一緒に過ごすこと、他人と協力して目的を達成することが楽しいと思える経験を積み重ね、コミュニケーション能力、問題解決能力を養うことを目指す。また相手を認める、受け入れる心（豊かな心）を育む。
- 根っこづくり…小さな失敗を繰り返す、失敗を恐れない、大人になった時につまずいてもしっかりと立ち直れるたくましい心を持った子供たちの育成を目指す。
- 地域づくり…子ども教室の活動を通し、地域の大人と大人、子供と大人がしっかりと繋がることを目指す。一時的な繋がりではなく、継続的に繋がる関係を築いている。

放課後子供教室

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

点ではなく、年間を通した、また 6 年間を通した線の活動となっているところが特徴的。稲作りから祭りの意義を学び、また伝統芸能を身に着けるといったように、一つ一つの活動も多方面に関連付けながらプログラムしている。地域の農業団体や文化団体、女性団体等と一時的ではなく継続的な繋がりを持ち活動をしているところも特徴的。田植え、稲刈り、脱穀や収穫祭、餅つき、郷土食の調理実習、通学合宿等地域の団体が子供たちの活動を支えている。また、卒業した OB・OG の中高生や大学生が小学生の活動をボランティアとして支える循環型の仕組みが確立している。夏のキャンプや稲作り、通学合宿、お泊り会など中高大学生が積極的に小学生をリードし、小学生の憧れとなっている。

【実施にあたっての工夫】

- ①多面的な繋がりを考えプログラムを練っている。
イベント的な活動ではなく、より生活的な活動となるよう仕組んでいる。
- ②準備から片付けまで子供たちがしっかりとできるような時間配分をし、良いとこどりの活動とならないよう配慮している。
- ③保護者も地域の大人の一人として子供たちの活動に関わり、地域のボランティアの方々や子供たちと一緒に楽しんで取組む仕組みづくりをしている。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・中高生や大学生が小学生の活動をボランティアとして支える仕組みの基盤が出来上がった。子ども教室を通して、町と中高生や大学生との接点を保っている。また、子ども教室の活動のみでなく、中高生が町の様々な活動に興味や関心を示し、積極的に参加する姿が見られている。
- ・活動に関わった地域の方々の多くが「子供たちと接することが私たちの生きがいだ」と話しており、子供たちとの活動を楽しんでいる。
- ・「生きる姿勢を地域の方々に見守られながら学んでいる」という保護者からの声や「子ども教室で大事なことを学んでいる」という参加した子供たちからの声があるように、生きる力を養う場として定着している。



田植えの様子
地域のおじいちゃん、おばあちゃん達に田植えを教わる



おふせ能の様子
稲作りから祭りの意義を学び、伝統芸能を身につけ発表

ポイント

子供の主体性や当事者性が発揮されるよう、子供間の話し合いや合意形成を図る場面を用意していることがとても素晴らしいです。卒業した中高生や大学生の参加により、循環が生まれていることも示唆に富みます。